

「軽減税率の役割の大切さ」
香川県高松市立桜町中学校
ハンキンズ 蘭 さん



僕はこの夏休みに家族でイギリス旅行に行っていた。その旅行を通してイギリスの税金について一つの疑問が浮かんできた。それは、イギリスのスーパーマーケットで妹が靴下を買った時だ。横にある大人用の靴下と比べるとその値段の差に驚いた。なんと、大人用の靴下は子供用の靴下より、二倍以上も値段が高かった。最初は布の量の差ではないかと考えたが、それにしては値段の差があまりにも大きい。なぜこんなにも値段に差があるのか。気になった僕は親にそのことを話した。すると、イギリスでは VAT と呼ばれる付加価値税という日本の消費税のようなものがあり、その税率は二十パーセントもあるとのことだった。しかし、子供用衣服、子供用品、書籍やほとんどの食品には VAT が全くかからないことを教えてくれた。それを知った上で、食品コーナーに行くと今度は食品の安さに驚かされた。リンゴが十個で百六十円で売られていたことが印象に残っている。この、一部の物には税金がかからない制度は、低所得層の人でも生活に最低限必要なものを購入しやすくするために設けられている。国民が生活しやすくなるため、とてもいい制度だと実感した。そこで僕は日本にも似たような制度が無いか調べてみると、軽減税率というものがあつた。日本の消費税率は十パーセントだが、軽減税率が適応される物は、消費税率が八パーセントになる。軽減税率が適応される物は酒類と外食を除いた飲食料品となっている。イギリスは免税されるかされないかで税率に大きな違いが生まれ、日本は軽減税率による違いが小さいことが分かる。僕はどちらかと言えばイギリスの仕組みの方がよいと思った。しかし、イギリスのようにしてしまうと、贅沢品や娯楽の値段がかなり高くなってしまふ。このことから、僕はイギリスと日本の二つの仕組みを合わせることで、日本の税金の仕組みをよりよいものに変えられるのではないかと考えた。消費税率を少し上げるかわりに軽減税率を少し引き下げることでちょうどいいバランスになると考える。具体的な例を挙げると、消費税率を十五パーセントにして、軽減税率を三パーセントにするというものだ。こうすることで国の歳入を十分に保ったまま国民が住みやすくなると思う。

税金について調べたことで、軽減税率は国民が過ごしやすいうようにする上でとても大切な役割を持っていることが分かった。また、消費税率が上がっても軽減税率は高くしすぎてはいけないと思った。